

よくあるご質問と回答：

Arcserve UDP Cloud Hybrid

Rev2.0

1. 全般

Q1. Arcserve UDP Cloud Hybrid とは何ですか？

Arcserve UDP Cloud Hybrid は Arcserve UDP の機能を活用した災害対策サービスです。

Arcserve UDP で取得したバックアップ データを遠隔地の安全なクラウドに複製することで、自然災害などによるサイト障害から重要なデータを保護します。さらに、Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製されたバックアップ データから作成された代替仮想マシンを起動することで、クラウド上でシステムを継続利用することもできます

Microsoft 365（Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive Business、Microsoft Teams）については、直接 Arcserve UDP Cloud Hybrid にバックアップします。

[Top へ戻る](#)

Q2. Arcserve UDP Cloud Hybrid と Arcserve UDP Cloud Direct の違いは何ですか？

Arcserve UDP は LAN 内でバックアップを行なうイメージバックアップ ソフトウェアです。バックアップ対象と同一 LAN 内にバックアップ データがあるので、迅速にデータを復旧することができます。Arcserve UDP に Arcserve UDP Cloud Hybrid を組み合わせることで、迅速な復旧と災害対策を両立が可能です。

一方、Arcserve UDP Cloud Direct はバックアップ サーバの導入が不要なサービスなので、システム管理者が存在しない支店・事務所の PC/サーバを手軽にバックアップしたいという要件に向いています。

[Top へ戻る](#)

Q3. Arcserve UDP Cloud Hybrid にバックアップ データを複製するには、何が必要ですか？

Arcserve UDP のソフトウェア ライセンスまたは Arcserve UDP アプライアンスでバックアップを取得しており、その環境で以下の要件を満たしている必要があります。

- ・ 復旧ポイントサーバにバックアップを取得していること
- ・ Arcserve UDP コンソールおよび復旧ポイント サーバがインターネットに接続できること
- ・ Arcserve UDP コンソールおよび復旧ポイント サーバのバージョンが v6.5 update4 ※ 以降であること
- ・ Arcserve UDP のソフトウェア ライセンスまたは Arcserve UDP アプライアンスのメンテナンスが有効であること

なお、一次バックアップ元はオンプレミスに限らず、上記要件を満たしていればクラウド環境（AWS や Microsoft Azure、Enterprise Cloud など）に構築された復旧ポイント サーバからデータを複製することも可能です。

※ v6.5 update 4 の場合 [P00001738](#) パッチの適用が必要です。

[Top へ戻る](#)



Q4. Arcserve UDP Cloud Hybrid を利用するのにクラウド側で構築作業が必要ですか？

いいえ、お客様が Arcserve UDP Cloud Hybrid 上でソフトウェアのインストールや OS の設定などの作業を行なう必要はありません。Web ベースのコンソールでレプリケーション（複製）などの設定をするだけで使い始められます。

[Top へ戻る](#)

Q5. Arcserve UDP Cloud Hybrid のデータセンターはどこにありますか？

東日本リージョン（東京都 多摩地区）と西日本リージョン（大阪府 大阪市内）の 2 つがあり、購入時に使用するリージョンを選択できます。

[Top へ戻る](#)

Q6. クラウドサービスの規約やサービス レベル基準の情報はありますか？

以下をご参照ください。

<https://www.arcserve.com/jp/cloud-services/>

[Top へ戻る](#)

Q7. Arcserve UDP Cloud Hybrid に保存されるバックアップ データは暗号化されますか？

AES-256 で暗号化されます。暗号化キーの管理は Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のコンソールで行えます。

[Top へ戻る](#)

Q8. Arcserve UDP Cloud Hybrid のトライアル（試用版）はありますか？

いいえ、トライアルはできません。Arcserve UDP のトライアル版を利用することで、復旧ポイントサーバ間のレプリケートの動作を検証することが可能です。

[Top へ戻る](#)

2. 機能

Q1. Arcserve UDP Cloud Hybrid に転送・保存されるデータは増分バックアップのみですか？

はい、初回のレプリケート（複製）を除き、増分バックアップ データのみが Arcserve UDP Cloud Hybrid に転送される仕組みです。そのため、ネットワークの使用量や Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のストレージ使用量を節約できます。

[Top へ戻る](#)

Q2. Arcserve UDP Cloud Hybrid へ転送・保存されるデータは重複排除されますか？

はい、バックアップ データは重複排除され Arcserve UDP Cloud Hybrid へ転送・保存されます。なお、重複排除のデータブロックサイズは、東日本リージョン：16 KB, 西日本リージョン：64 KB です。

[Top へ戻る](#)

Q3. Arcserve UDP Cloud Hybrid に保存するバックアップの世代数は任意に設定できますか？

はい、できます。一次バックアップ先と異なる世代数を定義することも可能です。

[Top へ戻る](#)



Q4. Arcserve UDP Cloud Hybrid に保存されたバックアップ データをバックアップすることはできますか？

いいえ、Arcserve UDP Cloud Hybrid に保存されたバックアップ データをさらにバックアップすることはできません。また Arcserve がこれらをバックアップすることはありません。

なお、Arcserve UDP Cloud Hybrid を構成するインスタンス/ストレージは冗長化されています。

[Top へ戻る](#)

Q5. Arcserve UDP Cloud Hybrid 上でバックアップ データのテストができますか？

はい、アシュアード リカバリ機能を利用し、Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製されたバックアップ データがリストアに使用できるか確認できます。一次バックアップ元で使用している Arcserve UDP の Edition が Advanced Edition であったとしても、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上でアシュアード リカバリが利用できます。

バックアップ対象が Windows の場合、インスタント仮想ディスク方式およびインスタント VM 方式※でのアシュアード リカバリ テストを行なえます。Linux の場合には、インスタント VM 方式※でのアシュアード リカバリ テストが行なえます。

※ インスタント VM 方式を使用するにはコンピュータ リソースのサブスクリプション (DRaaS) が必要です。

[Top へ戻る](#)

Q6. Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で起動した本番システムの代替仮想マシンに接続する方法は？

ポイント対サイトまたはサイト対サイトのインターネット VPN 機能を提供します。インターネット VPN 機能を利用される場合は、事前に[注意制限事項](#)をご確認ください。また、詳しい設定方法は購入後にテクニカル サポートへお問い合わせください。

[Top へ戻る](#)

Q7. Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で起動した本番システムの代替仮想マシンに、グローバル IPv4 アドレスを割り当てられますか？

有償でグローバル IP アドレスを割り当てるサービスを提供いたします。個別対応になりますので、価格等は販売店経由でご相談ください。なお、連続した多数のグローバル IP アドレスを希望される場合、JPNIC の審議に時間がかかったり、ご希望に沿えない場合がございます。

[Top へ戻る](#)

Q8. Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で起動した本番システムの代替仮想マシンに、稼働期間の上限はありますか？

Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で稼働する代替仮想マシンの連続稼働期間は 90 日を上限とします。代替仮想マシンの使用目的は本番システムの障害時の代替利用、または障害復旧テストに限られます。災害等の状況により、やむを得ず 90 日を超えそうな場合は、弊社営業にご相談ください。

[Top へ戻る](#)



Q9. Arcserve UDP Cloud Hybrid からオンプレミスのサーバを復旧するには、どうすれば良いですか？

災害等によりサイト障害が発生し、オンプレミス環境の復旧ポイントサーバや Arcserve UDP Appliance が故障してバックアップデータを失われ保護対象サーバを復旧できない場合には、以下の手順でバックアップ対象のサーバや PC を復旧します。

1. 災害のあったサーバやネットワーク機器を修理します。
2. Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のバックアップデータをオンプレミス環境の復旧ポイントサーバにレプリケート（逆向きのレプリケーション）します。
3. レプリケートされたバックアップデータを使い、サーバを復旧します。

逆向きのレプリケーションの詳細については [Arcserve UDP Cloud Hybrid スタートアップガイド](#) や [Arcserve UDP Cloud Hybrid 注意/制限事項](#) をご覧ください。

[Top へ戻る](#)

3. 購入方法

Q1. 料金体系について教えてください。

Arcserve UDP Cloud Hybrid は年間サブスクリプション方式です。必要なリソース分のサブスクリプションを購入することで、1年間サービスを利用できます。

バックアップデータの複製または Microsoft 365 のバックアップを行なうには、ストレージのサブスクリプションを購入します。

Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で本番システムの代替仮想マシンを起動する場合は、ストレージに加えてコンピュータリソース（CPU とメモリのセット）のサブスクリプションを同時に購入してください。

[Top へ戻る](#)

Q2. Microsoft 365 をバックアップするのに必要なものは何ですか？

Arcserve UDP Cloud Hybrid のストレージのサブスクリプションを購入してください。Microsoft 365 に限り、Arcserve UDP や Arcserve UDP アプライアンスを購入する必要はなく、直接 Arcserve UDP Cloud Hybrid にバックアップできます。

[Top へ戻る](#)

Q3. Arcserve UDP Cloud Hybrid のサブスクリプションはどこで購入できますか？

Arcserve UDP のライセンスまたは Arcserve UDP アプライアンスと同じ販売店から購入できます。

[Top へ戻る](#)



Q4. Arcserve UDP Cloud Hybrid からデータをダウンロードする際に、データ転送費用は必要ですか？

いいえ、Arcserve UDP Cloud Hybrid ではデータの転送量に対して課金することはありません。

[Top へ戻る](#)

Q5. バックアップ データが購入したストレージ容量に達した場合はどうなりますか？

Arcserve UDP Cloud Hybrid に保存されるバックアップ データの容量が購入済みのストレージ容量に達すると、レプリケート ジョブ (Microsoft 365 の場合バックアップ ジョブ) が失敗し、それ以上バックアップ データを保存できなくなります。

なお、バックアップ データの容量が契約容量の 95% に達した時点で警告メールを発報することも可能です。データストアの容量通知設定を有効にするには、購入時に提出する Registration Form に必要事項を記入するか、テクニカル サポートにお問い合わせください。警告メールを受信したらジョブが停止する前に追加のストレージ リソースを購入してください。

[Top へ戻る](#)

Q6. Arcserve UDP Cloud Hybrid は注文からどれくらいの期間で使い始められますか？

Arcserve に注文が届いてから、以下の期間でご提供できます。

ストレージ リソースのみの購入 - 7 営業日以内

コンピュータ リソースの購入 - 12 営業日以内

[Top へ戻る](#)

Q7. サブスクリプションの更新やリソースの追加はできますか？

はい、サブスクリプションの更新やリソースの追加は可能です。更新/追加分のサブスクリプションを購入する際に、更新元/追加先のサブスクリプション契約の Order ID をお知らせください。

[Top へ戻る](#)

Q8. リソース追加の際に、サブスクリプションの終了日を元契約と揃えることはできますか？

はい、可能です。契約更改がシンプルになるので、終了日を揃えることをお勧めしています。個別での対応になるので、販売店経由で購入前にご相談ください。

[Top へ戻る](#)

Q9. ストレージ リソースのみを購入してバックアップ データを転送している環境に、コンピュータ リソースを追加購入して転送済みのバックアップ データから代替仮想マシンを利用できますか？

いいえ、利用できません。Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のインスタンスを改めて作成し、代替仮想マシンが実行可能な状態に変更した上で、お客様環境からバックアップ データをすべて転送し直す必要があります。

[Top へ戻る](#)

Q10. サブスクリプション期間終了後、サブスクリプションの再開はできますか？

いいえ、サブスクリプションの再開はできません。また、サブスクリプション期間終了後にお客様のバックアップ データの削除が行なわれます。継続利用を希望される場合は、サブスクリプションが終了する前に契約更新の手続きをお願いいたします。やむを得ず期間終了前に更新ができないケース等は別途事前に担当営業へご相談ください

[Top へ戻る](#)



Q11. サブスクリプションはいつまでに更新すればよいですか？

サービスの継続利用を希望される場合は、サブスクリプション期間が終了するまでに継続のオーダーID 発行が必要です。従いまして、サブスクリプション終了日の 5 営業日前までに Arcserve へ継続の注文が届くように手配ください。目安として 2 週間前までに販売店へのご発注をお願いいたします。

[Top へ戻る](#)

Q12. サブスクリプション期限が切れるまでに、Arcserve から通知はありますか？

はい、サブスクリプション期限の 3 ヶ月前と 1 か月前に電子メールでお知らせいたします。通知先のメール アドレスはサブスクリプションの購入時に登録いただいたアドレスです。担当変更などでメール アドレスが変わる場合は、[Web フォーム](#)にて登録情報を変更してください。

[Top へ戻る](#)

